演習Ⅰ

担当者 初谷　勇

開講時期 通年　**単位** 4

●講義の概要

公共政策や公共経営に関わる理論と、受講生の研究テーマに関わる政策や経営戦略の展開を検討、考察する。先行研究関連文献の批判的検討や実地調査を通じて考察を深める。

●講義の到達目標

公共政策や公共経営に関する諸問題について、修士論文作成に必要な知識を習得するとともに、受講生の研究テーマにおける問題関心を培う。

●講義計画

具体的な講義日程、講義内容については、受講生の問題関心、研究計画も考慮して決める。修士論文作成に必要な知識と能力の向上をはかる。

●成績評価基準と方法

［評価基準］

(1) 修士論文作成に必要な、公共政策学あるいは公共経営学に関する基本的な知識や表現力を習得しているか。

(2) 受講生の問題関心に応じ、適切に研究テーマを設定し、先行研究や関連文献を把握した上で、それらを批判的に検討しているか。

(3) 研究テーマに即した研究対象を選択し、必要な調査に取り組んでいるか。

(4) (2)・(3) を踏まえ、修士論文骨子案の一部となり得るような期末レポートを作成しているか。

［評価方法］

①授業中の報告：30％（30点）、②議論への参加状況：20％（20点）、③期末レポート：50％（50点）により総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕

開講時に、履修者の問題関心、研究計画を考慮し、相談の上決定する。

〔参考文献〕

必要に応じて指示する。

●受講上の留意点

積極的に、たゆまず学習と調査研究に取り組むことを期待する。